# ◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

| | |
|---|---|
| ◇工法名 | GT-F201/ボンフロン太陽熱高反射率HBC-SR工法 |
| ◇適用素地 | RC、モルタル、普通プレキャストコンクリート板、スレート板 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ◇使用材料 | 下塗 | ABFライトエポプライマー | 主剤<br>硬化剤 | 13.5 kg<br>1.5 kg | 15.0 kg / セット |
| | | ライトシンナー | シンナー | | 16.0 ℓ / 缶 |
| | 中塗 | ボンフロン#1000HB中塗(白) | 主剤<br>硬化剤 | 15.0 kg<br>3.0 kg | 18.0 kg / セット |
| | | ボンフロンシンナー | シンナー | | 16.0 ℓ / 缶 |
| | 上塗1 | ボンフロンサンバリアGT | 主剤<br>硬化剤 | 13.0 kg<br>2.0 kg | 15.0 kg / セット |
| | | ボンフロンシンナー | シンナー | | 16.0 ℓ / 缶 |
| | 上塗2 | ボンフロン#2050SRクリヤー | 主剤<br>硬化剤 | 12.5 kg<br>2.5 kg | 15.0 kg / セット |
| | | ボンフロンシンナー | シンナー | | 16.0 ℓ / 缶 |

| 工程 | | 使用材料 | 希釈率(%) | 標準所要量注1 (kg / ㎡) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃) 工程内 | 塗装間隔(23℃) 工程間 | 施工方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 素地調整 | | 被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。 | | | | | | |
| 1 | 下塗 | ABFライトエポプライマー<br>主剤 / 硬化剤 = 13.5 / 1.5 | 専用シンナー<br>5 ～ 10<br>10 ～ 20 | 0.10 ～ 0.13<br>0.13 ～ 0.17 | 1 | — | 16h以上<br>7日以内 | 刷毛・ローラー<br>エアレス |
| 2 | 中塗 | ボンフロン#1000HB中塗(白)<br>主剤 / 硬化剤 = 15 / 3 | 専用シンナー<br>10 ～ 30 | 0.07 ～ 0.09<br>0.09 ～ 0.12 | 1 | — | 16h以上<br>7日以内 | 刷毛・ローラー<br>エアレス |
| 3 | 上塗1 | ボンフロンサンバリアGT<br>主剤 / 硬化剤 = 13 / 2 | 専用シンナー<br>10 ～ 30 | 0.09 ～ 0.11<br>0.11 ～ 0.15 | 1 | — | 16h以上<br>7日以内 | 刷毛・ローラー<br>エアレス |
| 4 | 上塗2 | ボンフロン#2050SRクリヤー<br>主剤 / 硬化剤 = 12.5 / 2.5 | 専用シンナー<br>0 ～ 30 | 0.07 ～ 0.08<br>0.08 ～ 0.11 | 1 | — | — | 刷毛・ローラー<br>エアレス |
| 合 計 | | | | | 4 | | | |

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m$^2$) × 100 / 塗着効率(%)』 で算出しております。
所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。
各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

| 施工方法 | 塗着効率(%) |
|---|---|
| 刷毛・ローラー | 80～100 |
| エアレス | 60～80 |
| 各種吹付けガン | 50～70 |

エアレス圧力(参考)5～10Mpa・50～100kg/㎠

注2) 上塗2(ボンフロン#2050SRクリヤー)の工程で短毛ローラーを使用する場合は、上塗1の塗膜を十分乾燥させるため塗装間隔について次の点にご注意ください。
(上塗1の乾燥が不十分な場合、上塗2の施工時に「にじみ」等の発生により変色・色ムラ等が発生する可能性が有ります。)

注3) 上塗 艶の種類

| | 艶有り | 7分艶 | 5分艶 | 3分艶 | 艶消し |
|---|---|---|---|---|---|
| ボンフロン#2050SRクリヤー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。
※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので所要量を遵守して下さい。

**※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。**
**塗装工事における留意点≪強・弱溶剤塗料共通≫【適応:無機系素地】**